

朝見小学校だより

松阪市立朝見小学校

令和7年1月29日

2024年度全国学力・学習状況調査について

4月18日(木)に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

この「全国学力・学習状況調査」は、児童の学力・学習状況を把握するとともに、児童の日々の考えを質問により把握し、今後の授業改善や生活改善に向けて取り組むための調査です。

調査結果からは子どもたちの成長の状況を読み取ることができます。結果を真摯に受け止め、有効に活用し、子どもたちの持てる力をさらに引き出すため、今後も学校・家庭・地域が一体となって、ともに取組を進めていければと考えます。ご協力よろしくお願いいたします。

教科に関する調査（国語・算数）

	本校	松阪市	三重県	全国
国語科	72	69.8	67.1	67.7
算数科	73	66.0	62.3	63.4

国語、算数とも、本校の平均正答率は全国と三重県、松阪市の平均正答率を大きく上回りました。特に、算数科では全国よりも約10ポイント高い結果です。

令和6年度全国学力・学習状況調査の
調査問題・正答例・解説資料→→→



国語

結果:学習指導要領の内容ごとに見てみると、**知識及び技能**では、「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「我が国の言語文化」の全ての事項で、全国平均を上回り、特に、「情報の扱い方」に関する問題は全員が正解、「我が国の言語文化」に関する問題は全国より約20ポイント高い結果でした。**思考力、判断力、表現力等**においては、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」は、ほぼ全国と同じ、「書くこと」の事項は、全国平均正答率を約10ポイント上回りました。また、問題の種類で見ると、記述式の問題の無解答率は全国平均より高く、課題となりました。

成果と課題:○が成果 ●が課題

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うこと。
- 主語と述語との関係を捉えること。
- 表現を工夫するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- 漢字を文の中で正しく使うこと。(今回の問題:きょうぎ・なげる)

算数

結果:学習指導要領の領域ごとに見てみると、「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の全てにおいて、全国平均を上回り、特に、「図形」と「変化と関係」の領域では、全国よりも約13ポイント高い結果でした。また、全員が正解した問題も複数ありました。概ね全ての問題において、全員が解答しており、全体的に無解答率は全国より低く、問題に粘り強く取り組んだことが分かりました

成果と課題:○が成果 ●が課題

- 計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
- 直方体の見取り図について理解し、かくこと。
- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解すること。
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ること。
- 球の直径の長さと同立方体の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。

児童質問紙調査（学習や生活の様子）

特徴的な本校の児童の結果として、以下の項目があります。※数値は肯定的な回答の割合

質問事項	本校	三重県	全国
朝食を毎日食べていますか	100	93.5	93.6
将来の夢や目標を持っていますか	83.4	81.6	82.4
友だち関係に満足していますか	94.4	91.1	91.1
学級の友達の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	100	86.0	86.3
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っていますか	88.8	84.0	83.7
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	88.9	78.2	77.9
普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか (1時間以内)	11.2	23.4	25.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	55.6	82.1	82.9
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	66.6	81.3	81.9

学校の今後の取組

- ・各教科の学習等で、分かったことなどを自分の言葉で文章にまとめる活動の充実を図る。
- ・インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定する。
- ・漢字の読み書き指導に力を入れ、日常的に学習した言葉を使う意識の向上を図る。
- ・学習の意味やねらいを子どもたちと共有し、主体的に学習にのぞめるように工夫する。
- ・自己肯定感を高める経験(最後まで物事をやり遂げる、人から認められる経験など)を増やし、何事にも意欲的に、取り組む姿勢を育てる。



ご家庭では、上記の取組にご理解・ご協力いただくとともに、規則正しい生活と読書や家庭学習の定着を引き続き、お願いします。また、お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さずほめることで、意識がさらに高まります。お子さんの学年に合った学習時間を自分で決めて取り組むことができるよう励ましてください。また、ゲームやスマートフォン、テレビ等の利用時間については、お子さんの利用状況を把握し、使い方についての約束をお子さんと一緒に考え、実践いただければと思います。

※参考 松阪市5つのチャレンジ応援サイト「生活習慣を確立する」➡

